

## 5 キャリアデザインを広げるための免許・資格

免許と資格取得は、自分の資質や能力を高めたり、キャリアデザインを広げたりするために有効な手段です。以下に免許取得の概要と代表的な資格を紹介します。自らのキャリアデザインを描く参考にしてください。

### (1) 実務経験を生かした上級免許状の取得（主な例）

取得したい免許状	取得している免許状	取得したい免許状の 学校種における実務経験	最低必要 単位数
小学校一種免許状	小学校二種免許状	二種免許状取得後、12年以上	10単位
中学校一種免許状	中学校二種免許状		
特別支援学校一種免許状	特別支援学校二種免許状		6単位
養護教諭一種免許状	養護教諭二種免許状	二種免許状取得後、3年以上	20単位
栄養教諭一種免許状	栄養教諭二種免許状		40単位
小学校専修免許状	小学校一種免許状	一種免許状取得後、3年以上	15単位
中学校専修免許状	中学校一種免許状		
高等学校専修免許状	高等学校一種免許状		
特別支援学校専修免許状	特別支援学校一種免許状		
養護教諭専修免許状	養護教諭一種免許状		
栄養教諭専修免許状	栄養教諭一種免許状		

(2) 実務経験を生かした異校種の免許状取得（主な例）

取得したい免許状	取得している免許状	取得している免許状の学校種における実務経験	最低必要単位数
中学校二種免許状 幼稚園二種免許状	→ 小学校普通免許状	+ 普通免許状取得後、3年以上	+ 14単位 6単位
小学校二種免許状 高等学校一種免許状（同一教科）	→ 中学校普通免許状 中学校専修・一種免許状	+ 普通免許状等取得後、3年以上	+ 12単位
中学校二種免許状（同一教科）	→ 高等学校普通免許状	+ 普通免許状取得後、3年以上	+ 9単位
特別支援学校二種免許状	→ 普通免許状（小・中・高）	+ 普通免許状取得後、3年以上	+ 6単位

(3) 同校種の他教科の免許状取得（主な例） ※実務経験は不要

	取得したい免許状	取得している免許状	最低必要単位数
中学校	二種免許状（他教科）	→ 専修・一種・二種免許状	+ 13単位
	一種免許状（他教科）	→ 専修・一種免許状	+ 28単位
	専修免許状（他教科）	→ 専修免許状	+ 52単位
高校	一種免許状（他教科）	→ 専修・一種免許状	+ 24単位
	専修免許状（他教科）	→ 専修免許状	+ 48単位

- 単位は、通信制大学（放送大学含む。）や県教育委員会などが行う免許法認定講習で取得できます。（放送大学では取得できない科目があります。）
  - 専修免許状の単位は、大学院又は大学の専攻科（短期大学を除く。）の課程において取得する必要があります。
- ※P56・58も参照ください。

## 専修免許状を取得して

### ■ 30代になって決意

大学では小学校1種免許を取得し、小学校教諭に採用されてからは、授業や学級経営に力を入れていました。教員になってからも専修免許を取り、自らの資質向上を図ることが必要ではないかと考えていましたが、教員になってしばらくは、余裕がありませんでした。30代終わりになって、少し余裕が出てきたことから、専修免許の取得を決意しました。

### ■ 放送大学での取得

私は、取得に当たって教師の仕事をしながら学べる放送大学を選びました。放送大学ではテキストを使って自分で学習するとともに、週末は放送大学宮崎市分室に通いビデオを視聴しながら学習しました。学習を進めながら自分の実践を振り返るとともに、新鮮な気持ちで学習を進められ、学び続けることの良さを感じることができました。そして、レポートと筆記試験を受け、受講開始から2年後に所定の単位を取得することができました。

### ■ 授業力や学級経営力が高まった

専修免許取得後は、自信と自覚をもって日々の教育活動に臨むとともに、学んだことを生かしながら教材分析や授業づくり、学級づくり等を行い、授業力や学級経営力が高まったように感じます。専修免許を取得することでより一層充実した教師人生を送ることができています。

(小学校 50代 男性)

## 特別支援学校教員免許状を取得して

### ■ 指導に悩んだ時期

私は元々中学校の教諭でした。授業で丁寧に教えても理解できない生徒や、授業では理解できても、テストでは全く答えられない生徒がいました。また、私は生徒指導主事を長く務めました。指導した時は反省しても、しばらくすると同じ過ちをする生徒がいました。このような生徒に対する指導で悩んでいるときに、発達障がいを知りました。発達障がいの特性は、私が指導で悩んでいた生徒の特性とほぼ一致していました。

### ■ その子に応じた指導方法を考える姿勢

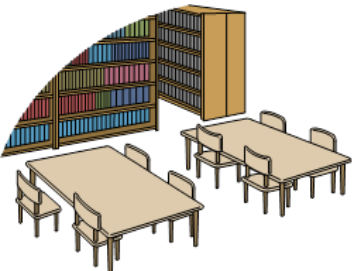

その後、独学で発達障がいについて学び、自分のそれまでの不適切な指導を反省するとともに、申し訳なかったという気持ちで一杯になりました。そして、特別支援教育をしっかりと学ぶ必要性を感じ、30代の頃、特別支援学校教員免許状の取得を決め、半年かけて二種免許状を取りました。免許を取得したことで、できない子どもには、その理由を見つけて、その子に応じた指導方法を考えるという姿勢を身に付けることができました。この姿勢は、その後、特別支援学級の担任をした時に欠かせないものでした。

### ■ 自信と希望ある生活のために

現在は、教頭を務めています。不登校、生徒間のトラブル、不応行動など、特別支援教育の視点からのアプローチにより解決につながるケースが多々あります。先生方へのアドバイスでも免許の取得が大いに役に立っています。これからも、免許取得によって得られた専門性やものの見方を生かし、障がいや特性のある子どもとその保護者の方々が、自信と希望をもって学校生活を送ることができるよう役に立ちたいと考えています。

(中学校 50代 男性)

(4) 資格

	主な業務	講習実施機関	備考
司書教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における学校図書館資料の選択・収集・提供</li> <li>・読み聞かせや朝の読書など読書活動に対する指導</li> <li>・学校図書館の利用指導計画の立案と実施など</li> </ul> 	<p>宮崎大学 放送大学 ほか</p> <p>※ 講習を実施する科目は講習実施機関により異なります。詳細は文部科学省のHPで確認してください。</p>	<p>○ 学校の役割として司書教諭となるよう命じられると、司書教諭の職務を担当します。司書教諭に命じられなくても、司書教諭の資格を取得することで、学習指導におけるメディアの活用や児童生徒の発達の段階に応じた読書教育の方法の理解が深まり、学習指導や読書指導に役立てることが出来ます。</p>
社会教育主事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育事業の企画・立案・実施</li> <li>・公民館などの社会教育施設の主催事業に対する指導・助言</li> <li>・婦人会、PTA、子供会などの社会教育関係団体の活動に対する助言・指導</li> <li>・研修事業の企画・実施</li> </ul> 	<p>熊本大学 ほか</p> <p>※ 講習の日数は約40日間です。詳細は文部科学省のHPで確認してください。</p>	<p>○ 社会教育主事の資格を取得することで、地域人材とのネットワークづくりや地域との連携等の在り方について理解が深まり、学習指導や様々な行事等で役立てることが出来ます。</p>